

国際ワーキンググループにおける論点例

■ 国際的協調

○ 国際的取組みの成果や経験等の国内施策への反映及び国内への周知

- ・ 女子差別撤廃条約の遵守や女子差別撤廃委員会からの最終見解(2009年8月公表)の国内への取入れや周知徹底を効果的に行うにはどのようにしたらよいか。

資料3-1: 女子差別撤廃条約

資料3-2: 女子差別撤廃委員会からの最終見解(2009年8月公表)

- ・ 「北京宣言及び北京行動綱領」及び国連特別総会「女性2000年会議」で採択された「政治宣言」・「成果文書」の国際規範・基準や国連婦人の地位委員会等の国際会議における議論等の国内への取入れを効果的に行うにはどのようにしたらよいか。

資料3-3: 「北京行動綱領」目次及び戦略目標

資料3-4: 国連等の動きと国内本部機構を中心とした主な取組み

- ・ 上記条約、最終見解、国際規範・基準、議論等、国際的な取組みを、国民のあらゆる年代層に届けるためには、どのような手段が効果的か。



○ 国際的貢献

- ・ どのようにしたら、男女共同参画の視点に立ったODAプログラム・プロジェクトがより効果的に実施されるか(重点分野を設定するか?)。

資料3-5: GADイニシアティブ

- ・ 開発途上国の国内本部機構の整備・能力強化支援に関し、どのようにしたら効果的に行うことができるか、また日本の強みは何か。

資料3-6: 開発途上国のための研修、協力事業、専門家派遣の実績

- ・ 外国政府、国際機関、国内外NGO等との効果的な交流・連携・協力をどのようにすすめていくか(中央レベル、地方公共団体、男女共同参画センター等)。

資料3-7: 日本・スウェーデン 男女共同参画ジョイントセミナーについて

資料3-8: 男女共同参画連携推進会議(連携会議)について



■ 対外発信機能の強化

○ 日本の取組みの対外発信

- ・ 国際社会への発信を効果的に行うには、どのような手段が考えられるか。また、何を発信していくのか。

① 国際会議の活用ー APEC WLN会合、国連婦人の地位委員会、東アジア男女共同参画担当大臣会合

資料3-9: 2010年APEC WLN会合開催について

資料3-10: 国連婦人の地位委員会

資料3-11: 東アジア男女共同参画担当大臣会合

② その他（既存の枠組みにとられないもの）



■ 各WG共通論点

○ 風土の改革・気運の醸成、あらゆる年代層への広報・意識啓発と実践的取組み

- ・ 若年層では男女で男女共同参画意識の傾向に差がみられるという現状もあるが、若年層への効果的なアプローチについて
- ・ 男女共同参画の問題について、メディアや幅広い主体との効果的な協働や、コミュニケーションの充実をどのように図っていくか
- ・ これまで男女共同参画に関心が薄かった層にも分かりやすくメッセージを伝える方策について
- ・ メディアが男女共同参画意識に与える影響について
- ・ 男女のための新しい社会変革という男女共同参画社会実現の意味を誤解なく伝え、新たな流れを作っていくための方策について

○ 国と地方の推進体制の整備充実・地方公共団体、企業、大学、NPO、地縁団体、男女共同参画センター等との連携強化

- ・ 地方公共団体における推進体制の充実や関連施策の着実な推進をいかに進めていくべきか
- ・ 国と地方公共団体(特に市町村)との連携を進めるためにはどのような仕組みが有効か
- ・ 企業や政党といった多様な主体が、自ら男女共同参画に主体的に参画する仕組みをいかに進めるか
- ・ NPO、地縁団体等が活躍できるような基盤をどのように作っていくか
- ・ 世代や地域や分野を超えてネットワークを形成し、連携協力していく方策について
- ・ 女性のライフコースに沿ったエンパワーメントに当たっての男女共同参画センター等の役割について